

IT業界

1. ITの国際共通語は英語です。
2. インターネットの世界で有名な企業はみなアメリカから来ています。
3. 英語は道具です。言葉は勉強するものではなく練習するものです。

あなたはIT業界のエンジニアですか。仕事で英語を使っていますか。もっと英語で言いたいことが言えたらいいのにと考えたことはありませんか。インターネットのおかげで仕事が簡単に国境を超える時代です。日本のIT会社が国際競争力を持つにはまず言葉の壁を乗り越える必要があります。ITの国際共通語は英語です。思い出してみてください。生まれて初めて書いたプログラムは何語で書きましたか。BASICですか。Cですか。それともJavaですか。これらは全部アメリカ発のプログラミング言語です。世界レベルで仕事する場合、エンジニアといえども英語は必須です。Google, Facebook, Amazonなどインターネットの世界で有名な企業はみなアメリカから来ています。アメリカには世界中から優秀な学生を集めて教育する大学があり、そこを卒業した学生がアメリカで働く環境があります。皆さんはそうした優秀なエンジニアと競争しています。彼らは英語で仕事し、英語で発信します。この世界で一番新しい情報は英語でのみ手に入れる事ができます。

社内の公用語が英語という会社はまだ日本ではごく少数です。外資系でも普段の会話は日本語という会社がほとんどでしょう。でも日本の人口は減る一方なので、市場を拡大するには海外に打って出なければなりません。海外で